

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 10日

事業所名 ゆいまーる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	ご利用者様の状況によりその都度配置を考慮し、危険のないよう工夫しています	
	2	職員の配置数は適切である	8	1	医療的ケアが必要なご利用者様には看護師が対応し、安心して活動ができるようにしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	利用者様の人数に応じて、フロア、上段フロア、ベッドを活用し安全に過ごして頂けるように配慮しています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4	監査を受けており業務改善に繋げています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0		
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	1	課題の整理表を作成し、発達支援、家族支援、地域支援の各項目ごとに課題や目標を設定し支援内容を計画しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	週の活動プログラムに2名の担当により立案し保育士の指導を受けながら行い、チームで行えるようにしている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7	2		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	前日までその日のリーダーを決めており采配を行っています	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	翌日の朝礼時に前日の振り返りを行っています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	3		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	5	修学前のお子様に関しては保健師との連携を行っています	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9	0	相談員を通じて医療、障がい福祉課、保育所等との連携を行っている	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	2	医療的ケア判定スコア、医療的ケア実施依頼書を主治医に記入、確認して頂いている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8		例年はハロウィン交流会やお遊戯会の地金は同法人の保育園との交流がありますが、コロナ禍で実施できていません。今後感染対策を行いながら可能な範囲で計画を立てていきます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	4	定期的に八代市の通所支援事業所が集まり情報・意見交換が行われています。八代市の協議会やこども部会にも通所事業所の代表が参加し連携を図っています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	登園時、降園時に伝えあうようにしている。あるいは連絡帳等を利用して保護者との共通理解に努めている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	3	ペアレントプログラム研修を受け、研修で学んだ内容を療育の現場に活用している	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8		コロナ禍で実施できていませんでしたが、次年度から開催予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7		コロナ禍で実施できていませんが、今後計画をしていきたいと思っています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	年2回の避難訓練を行っています	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	昼食提供時は禁忌食等のダブルチェックを確実に 行う申し合わせをしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	年1回の研修、年1回のチェックリストを実施しています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0		

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 10日

事業所名 児童発達支援事業所 2ndさくら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11		活動に合わせた環境設定や部屋わけをするようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	11		毎日話し合いをしながらスタッフ配置を行っている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11		活動ごとに部屋わけを行い、部屋の入り口には子どもの目の高さにイラストや写真を提示し何をする空間なのか視覚的にわかりやすく提示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11		室内・車内にオゾン発生器の設置を行い、換気を徹底している 消毒をこまめに行っている 清掃活動を日々行っている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11		合同ミーティングにて取り組んでいる	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11		保護者等向け評価を実施し、保護者の意向に対して早急に対応するように努めている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11		毎月のお便りで療育活動のねらい・目標などをお知らせしている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11		定期的に研修に参加し、職員のスキルアップに努めている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11		ニーズに合わせ、子ども一人ひとりの個別支援計画の作成、見直しを定期的に行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11		児童発達支援ガイドラインに沿った内容で計画作成を行うように努めている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11		計画に沿って個別課題の設定を行うよう心掛けている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	11		各月活動プログラムをチームで話し合い、様々な工夫を皆で進めている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11		年度開始日までに年間活動プログラムをたて、状況をみながら月々の活動を立てていくことで、プログラムが固定化しないように努めている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	11			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11		支援開始前日までに出勤職員でミーティングを行い、且つグループLINEを活用し、情報共有を行っている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11		スタッフミーティングでその日の振り返りを行い、子ども一人ひとりについて細かく情報共有を行い、次の支援につなげている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11		担当者が記録を取り、具体的な状況を把握して次につなげられるよう努めている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		人員配置が可能な限り、児発管1名と担当スタッフ1名が会議に参加するようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11			

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	11		現在医療的ケアが必要な方の受け入れがない。 必要性が出てきたときに対応する。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11		現在医療的ケアが必要な方の受け入れがないが、てんかん発作をお持ちの方に対して個別に発作時対応マニュアルを作成している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11		園へ送迎した際、その日の活動内容や様子をお伝えするようになっている サポートブックを作成することで、移行支援につなげている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	5	登録児童全員が園に所属しており、それぞれに交流がある。所属園とは送迎を利用して情報共有に努めている。 月1回のおたよりを所属している園にご家族を通して配布している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	11		八代圏域の通所事業所の会議に参加し、圏域の他事業所との交流を図っている。協議会への参加は圏域の事業所で持ち回りでやっている	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11		療育ノートはわかりやすく細かく書くよう心掛けている 連絡帳・LINEを活用し、共通理解を図っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	11		茶話会でペアレントプログラムを行っている。また、家族療育にも取り組んでいる	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11		契約時に説明を行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11		支援計画の説明を行っている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11		茶話会を開催し、就学について、サポートブックについての研修会を行っている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11		相談してくださったことを職員ミーティングで話し合い、なるべく迅速にお返すようにしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11		毎月セカンドさくらだよりを発行し、利用児童が所属する園への配布を行い、事業所内で取り組んでいることをお知らせしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11		写真掲載に関しておたより、SNS、ﾏﾃﾞｨｱなどそれぞれにおいて保護者の方に同意書の記入をお願いしている	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11		視覚支援を意識し、わかりやすく伝える配慮をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	4	コロナ禍で現在できていない	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11		マニュアルを作成し、保護者の方に閲覧して頂けるよう、玄関においている	
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11		年に2回の消防訓練・洪水避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11		てんかんをお持ちの方に対しては利用前と保護者の方の面談の際に対応方法の確認を行い、スタッフ間で共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11		定位置に発作時対応マニュアルを置いている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11		ヒヤリハットを作成し、なおかつミーティングなどで話し合い、今後の対策を考えている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11		研修を行っている 虐待チェックリストを使用し、虐待防止に努めている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11			現在対象児童はいない。今後受け入れができるように事業所内で身体拘束の研修会を行っていく。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 10日

事業所名 児童発達支援事業所ほのか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			・スペースを最大限に使い、利用児童が分かりやすいよう使いやすいよう活動によってレイアウトを変更しています。
	2	職員の配置数は適切である	8			・利用児童の人数に合わせて職員配置を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8			・
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		・毎日の清掃、消毒を行っています。常時空気清浄機を稼働しています。	・
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		・定期的に業務改善ミーティングを実施しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		・評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し、改善に努めていきます。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		・現在は、保護者様と事業所内での評価のみになっております。今後は、検討していきたいと思います。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・外部研修、事業所内でも定期的研修会の機会を設けています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		・面談等で、保護者様・利用者様の意向、状況・課題・ニーズを把握しし計画を作成しています。	・今後も、職員間で十分に話し合いを行い、よりよい支援を行っていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている			・活動プログラムでは、利用者様一人ひとりに合わせた小集団・集団・SSTのプログラム内容を職員全員で確認し、計画し・実行・改善を行っています。また、色々な経験ができるように、固定化しないよう工夫をしています。	・活動が固定化されないように、個別課題と集団活動（制作活動・サーキット等）を取り入れることで、利用児童同士が関わり、成功体験をたくさん積むことができるように考えています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している				
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		・活動時間の開始前と後には、職員のミーティングを必ず行い利用者様の様子やプログラムの流れ、支援内容を確認しています。また、終了後には振り返り記録も行っていきます。また次回の支援内容に繋げていくように職員内で共通認識をしっかりと行っています。	・毎日、必ずスタッフミーティングを行っています。また、迅速に適切な対応ができるように、連携の強化を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			・翌日のミーティングで必ず振り返りを行っています。また、業務日誌に記入し、職員全員に周知できるようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・日々、記憶を取り今後の支援についても、職員間で共有しながら支援を行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		・定期的にモニタリングを行い、保護者様、利用児童の現状把握・振り返りを行い、その都度目標の再確認・見直しも行っていきます。	・半年毎に支援計画の見直しを行っています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			・開催されてる会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8			

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8		・医療ケアが必要な利用者様に対しては、情報共有をしっかりと行っています。	・職員で、共通認識に努め緊急時の対応、保護者様と連絡連携を図り利用者様が安心して通所できるよう努めています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			・必要に応じて情報共有をおこなっています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			・子ども総合療育センターの療育講習会が予定があった時には参加をし、療育内容・職員会議でフィードバックを今後も行っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・利用時には、保護者様へ状況の説明を行っています。また、連絡ノートにも同時に記入しています。	・今後も日頃の療育内容を詳しくお伝えし、更に保護者様と一緒に共通認識を持ちフィードバックの時間を設けていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	8			・保護者向けのペアレントトレーニングのプログラムは行っていますが、フィードバック時の対応方法などの機会を設けています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		・契約時に必ず説明を行っています。また随時不明な点については、説明を行っています。	・支援内容、利用者自分につきましては、随時説明を行っています。また、改正があった場合には、各ご家庭に説明を行いプリント配布をしております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1		・長期休みでの説明会などを行っていましたが、今年は感染症対策としてプリント配布になっていました。状況を見てら保護者同士の交流ができるように事業所内でも今後、検討していきたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・迅速に対応をしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		・毎月、お便りを発行・また増刊号で利用者様の活動の様子など情報発信を行っています。	・活動予定をおたよりでお知らせしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		・個人情報記載された書類は、充分に注意をしています。	・鍵付きのキャビネットに保管しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		・一人ひとりに合わせて対応を行っています。	・わかりやすい声かけに工夫したり伝わる方法を利用者や保護者様に合わせるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	・敷地内にある建物(文化祭・もちつき・音楽会)より年に数回行われている。	・今年度は、地域の中の事業所として可能な限り開かれた事業運営に努めていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		・利用家族様へ丁寧に説明を行い入口には目に付く所にマニュアルを置いています。	・対応方法は、保護者様へ連絡を行っていますが詳細やマニュアルや保護者様への周知が不足している場合もあり早急に対応していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		・法人全体の訓練と事業所内の訓練を計画的に行っています。	・年間に、数回避難訓練を行っています。また、利用児童も参加を行い、実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			・事前に確認を行っています。また、職員で周知をしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		・アレルギーに関しては、保護者様よりアセスメントへの記入をお願いしています。	・医師の指示書などの対応は行っていません。アレルギーがある児童に関しては、活動に取り入れれないようにしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		・その都度、記載し職員で周知しています。	・危険な事例があった場合は、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		・虐待防止研修または、チェックリストを行い虐待防止に努めています。	・法人内での虐待防止委員会も構成しており、活動も行っています。また、外部の研修、事業所内での研修も行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		身体拘束に関しては、利用者様の生命や身体への緊急を要する条件として職員の共通認識に基づき支援していますが今、現在はありません。	・現在、対象児童はいません。身体拘束を行った場合には、記録に残すこと、また契約書に記載し、保護者様には契約時に説明を行っています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月10日

事業所名 児童発達支援事業所 わっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	・部屋数も多いため、活動の場のスペースは確保できている。また活動内容(個別・集団)に合わせて、環境設定も随時行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	11	0	・利用児童の特性や発達の状況によってスタッフ配置を行っている。保育士10名、看護師1名が勤務しており、個別での対応が可能になっている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	0	・個々に合わせた構造化も工夫している。	・段差などがあり、完全なバリアフリーではないが、児童の特性に合った環境になっている。今後も利用児童に必要な環境設定は都度行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	・活動毎のスペースを確保し、シンプルでやるべき事が分かりやすいよう工夫している。	・室内、玄関、車内に消毒液の設置、空気清浄/加湿機、オゾン発生機の設置を行い、感染防止に努めている。 ・午前/午後の2回清掃を行い、共有して使用する物の消毒を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11	0	・職員会議を開催し、業務改善に向けての検討を行っている。 ・スタッフ同士が発信し合える雰囲気作りにそれぞれが努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	・年度末に評価表を配布し、年間を通しての評価を頂いている。	・評価表のご意見を基に、次年度以降取り組んで行くべき課題をスタッフ間で共有し、在り方を検討していく。 ・ご家族に満足頂けるよう、支援の質の向上を図っていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	11		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	・研修資料を作成し、各自目を通す等の研修形態でも実施した。 ・スタッフ全員で研修参加出来る様、時間を確保する為、調整を行っている。	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、研修機会が減っている。オンライン研修も増えているので、情報収集し積極的に参加していきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0		・アセスメントに関しては、相談支援事業所からの情報を共有し、子どものニーズと保護者のニーズを見極め、支援を行うよう努めていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	0		・八代圏域地域療育センターで作成されたアセスメントシート(市の通所支援事業所に配布済み)を活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0	・児童発達支援ガイドラインに基づいた「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す計画作成を行っている。	・児童発達支援ガイドラインについては、ご存知ないご家族が多数である為、次年度も説明会を実施し、周知していく。また、年度途中からの契約時にも、説明を行っていく→ガイドラインについて書面化する。 ・今後も児童発達支援ガイドライン、計画相談支援事業所支援計画に基づき、計画作成に努めていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	・利用時の子どもの状況に応じてプログラムの設定を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	・楽しみながら取り組めるような活動設定を心掛けている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11	0	・特に小集団の活動を行う時には、活動参加に対する、個々の目標設定を行い、支援の程度も検討し取り組んでいる。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	・2人体制の担当制を取り入れ、それぞれのスタッフで活動や目標設定、振り返りを密に行っている。児童発達支援管理責任者においては、日ごろのミーティングやモニタリング時の状況から、情報を収集しており、利用児童について把握できている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	・写真も添え、誰が見ても分かるように記録している。また、経過が分かるようにチェック表も作成し、活用している。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	・児童発達支援管理責任者、担当スタッフの2名体制で参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	0		
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	11	0	・医療的ケアが必要な子どもさんの入園に対して、保育所等訪問支援、関係機関連携サービスを活用し、事業所スタッフ、看護師とスムーズな園生活への移行支援を行っている。 ・就学前でもある事から、就学に関しては年中児より情報提供し、放課後の過ごし方も含め検討している。	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0	・就学後も1学期間は保育所等訪問支援の契約を継続して頂き、入学後の困り感にも対応できるようにしている。	・学校によっては、入学後の移行支援を希望される所も多く、今後も随時対応していく。 ・コロナ禍では書面による共有方法を検討していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	0	・圏域の事業所スタッフ向けに行われる研修会に参加している。	・今後もオンライン研修/会議等、対応できるよう準備していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	11		・登録している99パーセントの児童が園に就園しており、交流や活動を進めているので必要性を感じていない。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	3	・令和4年度は子ども部会担当事業所の為、会議に参加している。	・協議会、子ども部会においては圏域の事業所で持ち回りになっている。圏域の事業所連携会議で、内容報告が行われるので、今後は、事業所スタッフへの周知を徹底していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	・お迎えに来られた保護者に対しては、取り組んだ教材を実際に見て頂きながら目的と様子、今後の課題についてお伝えしている。また、連絡ノートでは写真やコピーを活用して利用児童の様子が伝わりやすいように工夫している。	・近年送迎希望が増加しており、ご家族と会う機会が減っている。モニタリング時に現状や今後の課題等をお話しするが、しっかりと共通理解が出来ているか、曖昧なケースもある。連絡ノートに記載されているご家族の質問や困り感に確実に返答対応を行い、定期的にやり取りできるツールを検討していきたい。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	11	0	・連絡ノートやline、モニタリング時に頂いた質問に対しては、随時、助言提案等行っている。	・1昨年度外部講師より「ペアレント・プログラム」についてスタッフが学んでいるので、毎年、振り返りを行っていく。 ・次年度、「ペアレント・プログラム」について再度研修を受け、情報提供を行いながら、研修会開催に向けて準備していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	・連絡ノートやlineで発信される事に注目し、ご家族の想いを把握する事に努めている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11	0	・就学された先輩保護者を招いた茶話会を実施し、就学後の期待や不安について意見交換し、保護者同士の繋がりの場を設けている。	・今年度も家族療育、茶話会を年1回実施する事ができた。保護者間の連携については、交流会を予定していたが、感染症の拡大により、開催方法を変更。放課後等デイサービス事業所と連携し、就学後のご家族の意見を知る機会を設けた。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	・利用児童が在籍している園にも配布し、事業所で取り組んでいる事を発信している。	

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	・タブレット/ラインを活用している。 ・配布物が多い時は一度に配布せず、間隔を開けるようにしている。	・LINEを活用する事で、やり取りの内容が記録に残り、行き違いがなくなった。 ・配布するプリントにイラストを入れ、視覚的にイメージしやすい工夫している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	3		・事業所としての行事は行っていないが、道路の歩き方や買い物学習など、社会ルールを学ぶ場、利用児童が生活し成長していく場として地域を含めた療育に取り組んでいる。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	・訓練というよりも、普段の活動の中で聞く姿勢や瞬時に注目する事、指示の理解力を高めていけるよう、スタッフも常に意識して取り組んでいる。	・お便りや記録で実施内容を知らせている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	・アレルギーの有無、服薬については、利用開始時にアセスメントシートで確認している。	・給食は提供していないが、クッキングを行う時には、アレルギーの有無について確認している。摂食に関する療育を行う時には、家庭より持参して頂いている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	・年1回、虐待防止についての研修会チェックリストを実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	11		・現在対象児童はいないが、対象児童に対しては、児童発達支援計画に記載し、保護者の同意を得ている。今後も身体拘束についての研修会を行っていく。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 5年 3月 10日

事業所名 ゆいまーる

保護者等数(児童数) 5 回収数 4 割合 80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				送迎の方との時間調整で 登園時間をずらしたことが あった。	今後は可能な限りご要望 にお応えできるように体制 を整えていく
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの 特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフ リー化や情報伝達等への配慮が適切になされて いるか	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	4				毎回昼寝をしているので 心地良い環境なのと思う	
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画*2が作成さ れているか	4					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイド ラインの「児童発達支援の提供すべき支援」 の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「 家族支援」、「地域支援」で示す支援内容 から子どもの支援に必要な項目が適切に選択 され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れているか	4					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われてい るか	4					
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫さ れているか	4					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会があ るか	2		1	1		例年はハロウィン交流会やお遊戯 会の時期には同法人の保育園児と の交流がありますが本年度はコロ ナ禍のため控えております。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明 がなされたか	4					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援 の提供すべき支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支援 計画」を示しながら支援内容の説明がなされ たか	4					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレ ント・トレーニング*4等)が行われているか	3			1		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの健康や発達の状況、課題について共 通理解ができていますか	4				送迎時に一日どのように 過ごしたかを聞いている	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関 する助言等の支援が行われているか	4					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催 等により保護者同士の連携が支援されている か	1		2	1	コロナ禍での利用開始の ため実施されていない	コロナ禍のため茶話会の 実施ができておりませ ん。次年度は開催を予定 しています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについ て、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や申 入れをした際に迅速かつ適切に対応されてい るか	4					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮がなされているか	4					

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4					
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4					各種マニュアルは備えています。感染症に関してはノロウイルス疑いの場合の対応など訓練を実施しています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			2		年2回の避難訓練を実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4					
	23	事業所の支援に満足しているか	4					

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 5年 3月 10日

事業所名 児童発達支援事業所 2ndさくら 保護者等数(児童数) 20 回収数 20 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20				いつも楽しんで行っています	支援スタッフは保育士6名児童指導員5名で対応しています。 事業所内研修、外部研修を行い、スキルアップに努めています
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17			3		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20				広さも十分あり、部屋がいくつか区切られているため、集中しやすいと思う	
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	20					児童発達支援ガイドラインに沿った内容で計画作成を行うことに努めています
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19			1		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20				支援計画以外にもその都度要望を取り入れ支援してくれます	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	18			2	問題が生じた時や今後の予測を想定し工夫し、実施されている	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10			10	まだ利用日が浅いのでわかりません	
保護者への 説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	18			2		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	18	1		1		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19	1			連絡ノートや送迎時、口頭や保育園の先生を介したりで情報共有できる写真で様子を伝えてくれるので、わかりやすく自宅でも実践しやすい	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	2		1	悩みを聞いてもらうだけで気持ちが軽くなります。子どもの良い所をみつけて教えてくれるので自信にもつながります	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	2		3		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1			おたずねしたことなどすぐにその日に返事を下さり助かっています	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19			1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16			4		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19			1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	2	1	5		定期的に災害を想定した訓練を行っています。 避難訓練の事前通知や事後報告を行いながら、周知の徹底に努めていきます
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2		7		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2			気分や体調で違うようです 行きたくないといったことは一度もありません。楽しんでくれているようです	園行事の際は日程変更していただきますのでお知らせください
	23	事業所の支援に満足しているか	20					

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 5年 3月 10日

事業所名 児童発達支援事業所ほのか

保護者等数(児童数) 7 回収数 7 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7				・集団生活(学校想定)をきちんと考えスペース確保してある。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7					
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7				・事業所の部屋の様子を見て、良い雰囲気だと思った。	・室内は活動前には環境を整え、教材の配置、教材の片付けなど、それぞれの利用児童にとって分かりやすい環境を整えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7				・子どものペースで活動できていると思う。	・毎日の清掃、消毒を行っています。常時、空気清浄機をつけ、また換気も行っています。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	7				・ニーズに沿った計画ができています。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7					・今後も分かりやすい説明を行い周知に努めていきたいと思っています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				・親が不安に思っていることもきちんと計画されて実行してある。	
	8	<u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	7				・色々な活動を計画してある。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2			5		・事業所としては、交流した実績はありませんが今後は検討していきたいと思っています。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7				・契約時に説明を受けました。	・契約時に説明を行っています。また、利用負担額の変更等については書面にてお伝えしています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	7					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	7					
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7				・連絡ノートも記入しており、安心しています。	・個別支援計画のモニタリング時やご要望に応じて面談を行っています。また、相談しやすい体制の見直しも行っています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7				・助言もあり助かっています。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	1	3		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5			2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7					
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			3		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			3		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	7				・お友達と通所していることもあり、楽しんで行くことができています。	・利用児童が安心して活動できるように、
	23	事業所の支援に満足しているか	7					

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和5年 3月10日

事業所名 児童発達支援事業所 わっこ

保護者等数(児童数) 68 回収数 52割合 76%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50	1		1	【1に対するご意見】 ・確認したところ、問題なく確保されていると感じる。 ・確保されている。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	49			3	【2に対するご意見】 ・適切。十分に配置、専門性は適切です。 ・適切な配置数等把握していないため、わからない。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	50	2			【事業所より】 ・10名の定員に対し、10名の保育士を配置していますので1対1での関わりが出来る事が事業所の強みだと思っています。今後もスタッフのスキルアップを行い、子どもに必要な支援、提案を行えるよう努めていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	52				【3に対するご意見】 ・イラスト化されていたり、工夫されている。 ・十分に行われている。 【事業所より】 ・活動空間については、内容に応じて部屋を使い分けています。シンプルに、情報量を少なくし、集中しやすい環境づくりを心掛けています。	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	52				【4に対するご意見】 ・生活空間の物の配置など心地よさそうです。 ・とても清潔で過ごせる環境である。 ・子どもに合わせて頂き感謝しています。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	50	1		1	【5、6に対するご意見】 ・子ども、保護者に寄り添って作成されている。 ・分かりやすく作成されている。 ・支援内容については十分に設定されており、家でもできる範囲で行おうと考えている。 【事業所より】 ・児童発達支援ガイドラインについては次年度から書面でお知らせできるよう作成します。 ・利用時は個々の状況、計画に基づき活動、教材の設定を行っています。今後も目標、目的がより分かりやすく伝えられるように努めていきます。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	51			1	【7、8に対するご意見】 ・活動内容に関して、満足している。 ・活動の種類が色々取り組まれている事が分かる。 ・計画に沿った支援がされていて、活動の工夫も行われている。	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	51			1		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	37	4		11	【9に対するご意見】 ・これは、普段地域の保育園に通園しているので重要ではない。 【事業所より】 ・登録されている99パーセントの子どもさんが園に就園されており、他児との交流や活動を進められています。十分機会は設けられていると思いますので、事業所としての交流の必要性は感じていません。	
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	52					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	50			2	【12に対するご意見】 ・育児に困った際は相談させて頂いております。 ・実際に子どもに合ったトレーニングは医者でもわからないと言われていたし、体の特性で伝えられた事に関しては私から見ると違うような気もするので、長い目で見ないと障がいの事も、体の特性の事も分からない。 【事業所より】 ・ベアレントプログラムについて、スタッフの研修会を行っています。コロナ禍で茶話会【研修会】を開く事を見合わせています。全6回の開催となりますので、研修会として開催する事は新型コロナウイルス感染症が落ち着いた時期をと考えています。また、他に開催方法がないかを検討中です。 ・これまでもお便りで「褒めポイント」や「こどもの行動から考えられる事」等を発信させて頂いております。今後も少しでも役に立つ情報を発信していきたいと考えていますので是非目を通されてみてください。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ベアレント・トレーニング*4等）が行われているか	39	3		10		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	51	1			【13、14に対するご意見】 ・十分に助言を頂いていて、共通理解が出来ている。 ・lineなどで活動内容を連絡頂き、すぐ確認できるし、有難いです。 ・写真付きの療育の様子がとても分かりやすく良いと思います。 ・送迎を依頼しており、お話すの機会が減り、日常をお伝えする事もお尋ねする事もできていない為、不安。 【事業所より】 ・不安、心配、子どもさんの変化など小さなことでもご連絡下さい。また、連絡ノートやlineも活用ください。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	43	4	1	4		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	7	5	19	【15に対するご意見】 ・コロナ禍では難しいですね。・父母の会とは...。 ・コロナ禍で中止している件承知しています。 ・コロナの影響もあるので交流がないのは仕方ないと思います。 ・コロナが流行する前は保護者同士会合を作っていました。 【事業所より】 ・事業所をご利用のご家族を対象に茶話会【保護者会】を年4回開催しております。近年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、開催方法を変更して取り組んでいます。 ・昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大への感染防止の観点から「密」を避けた活動の在り方を検討しています。勉強会においては、人数制限を行い、少人数で対応させて頂きました。また、家族療育においては、感染状況を把握しながら年1回ではありましたが実施する事が出来ました。「密」を避ける為、ZOOMを活用した家族療育も試みました。日程の変更や中止でご家族にはご迷惑をおかけしました。次年度も、活動の在り方を都度検討していきます。 ・茶話会【保護者会】については、就学後のご家族との交流会を予定しております。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	51			1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	51			1		

非常時等の対応	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	50	1	1	たが、感染状況から、書面アンケートによる質疑応答に開催方法を変更しました。					
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	44	2	6	【16～18に対するご意見】 ・適切に事業所で相談から申し入れ等、投げかけては対応して下さります。 ・相談事をしたらすぐに対応して下さい、助かっています。 ・lineで伝達して頂けるのが便利です。 ・わっごだよりは活動内容が分かりやすいだけでなく参考になる事も書かれており、いつもためになります。 ・おたより毎月読ませて頂いております。					
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	32	4	16	【20に対するご意見】 ・感染対策については信頼しております。					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27	3	22						
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	48	3	1						
満足度	23	事業所の支援に満足しているか	52								
		【22に対するご意見】 ・「わっごさん行きたい」と言ったりします。 ・子どもも慣れて通所するのを楽しみにしています。 ・とても楽しみの様です。家族も楽しみです。 ・毎回楽しみにしています。 ・いつ行くのか、まだ行く日ではないのかと十分に楽しみにしている。 ・子どもも楽しそうに活動しているのが伝わってきます。 【事業所より】 ・様々なご意見ありがとうございます。活動プログラムにおいては、現状を見極め楽しみながら学ぶ場の設定を心がけています。 ・教材も個々の興味のある物から作成し、興味を持って取り組めるように工夫しています。 ・たくさんの「できた」「達成感」を感じられるような活動設定に努めています。 【23に対してのご意見】 ・十分に満足しています。 ・最近やっと療育でしている事が保育園に繋がっている！と分かってきました。 ・毎回、写真などを使って細かく取り組み内容をお知らせ頂けるので、出来る事、出来ない事が分かりやすい。とてもありがたいです。 ・先生方の対応に本当に感謝しています。ありがとうございます。 ・大満足です。 【事業所より】 ・今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、様々な生活様式に変化がみられました。感染状況を鑑みながら家族療育や茶話会を計画しました。昨年度の経験を踏まえ、家族療育や茶話会においては開催方法の見直しを行い実施しました。また、昨年度までは中止していた年長児の1日療育を年1回ではありましたが実施する事が出来ました。事業所においては、感染拡大も見られず、少しずつコロナ禍前の活動の状況に戻している状況です。まだまだ心配は残りますが、今後も感染防止に努めながら、よりご家族のニーズに寄り添った支援を行っていきたいと考えています。 ・様々なご意見を頂きながら、今後も質の向上に努めます。									

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 10日

事業所名 児童発達支援事業所 さくら 職員数9名

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		・限られたスペースですので、少しでも広く活動できるよう、環境整備を心掛けています。	
	2 職員の配置数は適切である	9		・職員の加配はされています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9		・スロープ等設置しています。	・今後の利用の状況において、環境においては対応を進めていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		・毎日出勤職員全員でミーティングを行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		・保護者からの意向は職員全体で把握し、改善に努めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・研修の参加や事業所内研修を行っています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		・アセスメント表をもとに職員会議を行い、支援計画の見直しをしています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・チームでミーティングを重ね活動計画を立てています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		・面談や日頃のやり取りを通して利用児童や保護者のニーズを把握し、社会に出る為に必要と考えられるスキル獲得のお手伝いをしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9		・それぞれの状況に応じた課題設定に心掛けて進めています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		・子どもの状況に合わせて、組み合わせを進めています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		・昼礼を行い、活動内容の確認や役割分担の確認を行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		・次の利用日までに昼礼等で共有する時間を設けています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		・療育記録や活動への評価を行い、支援計画に活かしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		・定期的に行い、現状を確認しながら取り組んでいます。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9		・念頭に置きながらの支援に取り組んでいます。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		・児発管が会議に参加するようにしています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		・おたよりを学校に配布し情報共有を行っています。また、必要に応じて連絡を取るようにしています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9			

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		・移行支援会議などに出席し、情報をお伝えしています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		・定期的にある研修会に出席しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9		・今年度はコロナ感染防止のため行えていません。・コロナが落ち着けば、長期休みなどを利用して、交流を進めていきたいと思います。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9		・八代圏域通所支援会議には参加しており他の事業所との交流を行っています。 ・協議会への参加は圏域の事業所で持ち回りでおこなっています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		・関係機関などとは、必要の応じ、連絡・報告をしながら進めています。 ・日頃から直接話をする機会を短時間でも多くとれるよう心掛け、信頼関係を築き、本音を言いやすい雰囲気づくりを心掛けています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9			・来年度以降でコロナ感染防止の見通しがたてば、茶話会でペアレントプログラムを行っていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・日々の保護者との会話や面談に応じたり、話を聞き支援に活かしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		・例年は定期的に茶話会を行っています。 ・行えていない分、プリント配布などで情報提供をしたり、可能なツール(LINEや電話を含む)での発信をしたり心掛けました。	・今年度はコロナ防止対策のため、難しかったが、来年度以降でコロナ感染防止の見通しがたてば、機会を設けていきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		・ご家庭よりお伝えいただいた事は職員全員で共有し、速やかに対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・児童が在籍する学校におたよりを配布し、事業所で取り組んでいることをお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	9			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		・視覚支援を意識し、わかりやすく伝える配慮をしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9			・今年度はコロナ防止対策のため、難しかったが、来年度以降でコロナ感染防止の見通しがたてば、機会を設けていきたいです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		・長期休みを利用して避難訓練を行っています。 ・また、DVD視聴や話、紙芝居などを通して、日頃から少しずつ伝えていくよう心掛けています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		・日頃から保護者の方々、子ども達とのコミュニケーションをしっかりとるようにし、気を配るようにしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			・現在対象児童はいませんが、必要に応じて進めていきます。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		・ヒヤリハットなどは、屋礼や様々な報告の場での情報共有、または口頭だけでなくその時々の方で行う事を心掛けています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 10日

事業所名 ゆいまる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1		
	2	職員の配置数は適切である	8	1	基準の配置よりも加配した人員配置となっています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	監査を受けており業務改善に繋がっています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	3		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	3		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	2	医療的ケアが必要なご利用者様には主治医に医療的ケアの判定スコアや医療的ケア実施依頼書を記入して頂いています。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	6	ハロウィン交流会やお遊戯会の時期には同法人の保育園児との交流がありますが、コロナ禍で実施できていません。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	2	八代市の協議会やこども部会には通所支援事業所の代表が輪番で参加しており、情報共有を図っています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	3	ペアレントプログラムの研修で学んだことを現場に取り入れたり、保護者に伝えたりしています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	9		コロナ禍で実施できていませんが、今後実施を予定しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0		
	35	個人情報に十分注意している	8	1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	3	緊急時マニュアルについては定期的に確認しています	防犯マニュアルの強化も行っています
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 10日

事業所名 児童発達支援事業所 2ndさくら 職員数11名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11		活動に合わせた環境設定や部屋わけをしている。	
	2	職員の配置数は適切である	11		毎日ミーティングで配置確認を行っている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11		段差をなくした建物の設計になっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11		毎日出勤職員全員でミーティングを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11		アンケートを実施し、保護者の意向に対して早急に対応するように努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11		実施した内容をおたよりで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11		研修案内もスタッフ全員で周知されていて、研修参加ができています	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11		アセスメント表をもとに職員会議を行い、支援計画の見直しをしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11		チームでミーティングを重ね活動計画を立てている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11		ビジョントレーニング、ワーキングメモリ、協調運動、SSTなどを意識した活動を個別や集団で行っている。 今後も面談や日頃のやり取りを通して利用児童や保護者のニーズを把握し、大人になり、社会に出る時に役立つスキル獲得のお手伝いをしていきたい。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11		スタッフミーティングで子どものその日の目標設定を行っている。 長期休暇中は例年は戸外活動を行っているが、今年度は事業所内で屋台を楽しんだりお店番をすることで、お金の練習や公共のマナーの練習をおこなっている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11		支援計画に沿った課題の準備やグループの組み合わせを心掛けている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11		毎日ミーティングを実施し確認を行っている。休みのスタッフへは後日周知している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11		支援開始前日までに出勤職員でミーティングを行い、且つグループLINEを活用し、情報共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11		療育記録や活動への評価を行い、支援計画に活かしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	11			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		児発管と担当が会議に参加するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11		2ndさくら便りを園や学校に配布し情報共有を行っている。また、必要に応じてノート交換を行っている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	11		発作がある利用者様は保護者の方へ発作対応方法など確認後発作時対応マニュアルを作成しスタッフ全員で周知している	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	11		登録児童全員が学校に行っており、交流や活動を進めている。 月1回のおたよりをご家庭を通して児童が所属しているクラスに配布している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	11		八代圏域通所支援会議には参加しており、圏域の他の事業所との交流を行っている。 協議会への参加は圏域の事業所で持ち回りでおこなっている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11		保護者の方のお迎えの際、担当職員が日々の様子を伝達している。 保護者の方がお迎えに來れないご家庭は、お迎えの際の伝達が難しいため、療育記録に加え、LINEでその日の様子を写真付きで送るなどしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	11		ペアレントプログラムを行っている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11		相談などがあった時、都度場を設け顔を合わせ助言アドバイスを行っている	お迎えに來ることができないご家庭には、療育の様子をLINEで伝えていくことを徹底したい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11		ペアプロや茶話会を開催し、和やかな雰囲気 の元保護者同士のつながりを大切にしています	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11		ご家庭よりご指摘をいただいたことは速やかに職員全員で共有し、対策案を考え実施している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11		毎月おたよりを発行しています	
	35	個人情報に十分注意している	11		個人情報のメモなど用件後は必ずシュレッダーにかけ対応しています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11		視覚支援を意識し、わかりやすく伝える配慮をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11		長期休暇など地域の方にお手伝いに来ていただいています	今年度まではコロナ防止対策のため、むつかしかったが、来年度以降で、機会を設けていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11		年に2回の消防訓練・地震避難訓練を行っている。	避難訓練の報告を2ndさくら便りで行っている。より周知をはかるため、避難訓練前日までに保護者の方にLINEで避難訓練を行う期日を知らせるようにしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11		研修を行っている 虐待チェックリストを使い、虐待防止に努めている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11		現在対象児童はいない。 今後の受け入れができるよう事業所内で研修を行っていく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11		ヒヤリハットを作成し、なおかつミーティング等で共有し今後の対策を考えている	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 10 日

事業所名 児童発達支援事業所ほのか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		・利用児童が安全に楽しく活動できるように配慮しています。	・指定基準に基づき活動スペースを十分に確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	8			・基準に基づき職員の配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		可能な限り事業所内のバリアフリー化に取り組んでいる。	・入口にはスロープがありますが、今後検討していきたいです。また必要な時には声をかけていただけると迅速に対応します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		・毎日、スタッフミーティングを行い振り返りもしています。	・今後も、引き続きスタッフのミーティングを行い、よりよい支援ができるように努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・ご意見を頂いた際は、しっかりと把握し、業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		・ホームページに公開しています。	・毎月、お便り等で事業所の活動内容を掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		・現在は、保護者様と事業所内での評価のみになっております。今後は、検討していきたいです。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・外部研修、事業所内でも定期的研修会の機会を設けています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		・面談等で、保護者様・利用者様の意向、状況・課題・ニーズを把握し計画を作成しています。	・今後も、職員間で十分に話し合いを行い、よりよい支援を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・活動プログラムでは、利用者様一人ひとりに合わせた小集団・集団・SSTのプログラム内容を職員全員で確認し、計画し・実行・改善を行っています。また、色々な経験ができるように、固定化しないよう工夫をしています。	・活動が固定化されないように、個別課題と集団活動(制作活動・サーキット等)を取り入れることで、利用児童同士が関わり、成功体験をたくさん積むことができるように考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・平日、休日、長期休暇では、活動内容を変更し提供しています。また、長期休暇については、外出活動など平日では取り組むことができない体験活動に積極的に取り組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		・利用者様が得意なことに関しては、達成できる個別活動。集団活動では気持ちの切り替え方・相手に伝える方法などを保護者様と話し合いを行っています。	・毎日、必ずスタッフミーティングを行っています。また、迅速に適切な対応ができるように、連携の強化を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		・活動時間の開始前と後には、職員のミーティングを必ず行い利用者様の様子やプログラムの流れ、支援内容を確認しています。また、終了後には振り返り記録も行っています。また次の支援内容に繋げていくように職員内で共通認識をしっかりと行っています。	・翌日のミーティングで必ず振り返りを行っています。また、業務日誌に記入し、職員全員に周知できるようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			・日々、記憶を取り今後の支援についても、職員間で共有しながら支援を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		・定期的にモニタリングを行い、保護者様、利用児童の現状把握・振り返りを行い、その都度目標の再確認・見直しもしています。	・半年毎に支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8		・支援計画書に発達支援・家族支援・地域支援を入れ具体的な計画を立てています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			・開催される会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		・学校への送迎時に子どもの様子等を伺いまた連携を図り、情報共有をしています。	・利用児童が関係している学校主催の連絡会議が開催される際には、参加しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8		・医療ケアが必要な利用者様に対しては、情報共有をしっかりと行っています。	・職員で、共通認識に努め緊急時の対応、保護者様と連絡連携を図り利用者様が安心して通所できるよう努めています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		・児童発達支援事業所も事業所内で開所しているので情報共有は職員内で行っています。	・必要に応じて情報共有をおこなっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8		・移行している利用者様への情報提供を行い、その際、個人情報の取り扱いにも気をつけています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			・子ども総合療育センターの療育講習会が予定があった時には参加をし、療育内容・職員会議でフィードバックを今後も行っています。

連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4		・今年度は、感染症予防の為に、実施はできませんでした。今後、検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・利用時には、保護者様へ状況の説明を行っています。また、連絡ノートにも同時に記入しています。	・今後も日頃の療育内容を詳しくお伝えし、更に保護者様と一緒に共通認識を持ちフィードバックの時間を設けていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8			・保護者向けのペアレントトレーニングのプログラムは行っていないですが、フィードバック時の対応方法などの機会を設けています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		・契約時に必ず説明を行っています。また随時不明な点については、説明を行っています。	・支援内容、利用者自己分につきましては、随時説明を行っています。また、改正があった場合には、各ご家庭に説明を行いプリント配布をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・定期的な個人面談を行っています。また、個人面談以外にも保護者様からの支援の悩みに適切に対応しています。	・半年に一度、面談を行っています。また、面談以外にも、保護者様としっかりと支援方法を考えています。また、面談以外にも、いつでも話ができる環境を作り、丁寧に対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	3		・長期休みでの説明会などを行っていましたが、今年は感染症対策としてプリント配布になっていました。状況を見てら保護者同士の交流ができるように事業所内でも今後、検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		・苦情受付・解決に迅速かつ適切に対応をしています。また、職員への共通認識を行っています。	・苦情については、迅速に対応をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		・毎月、お便りを発行・また増刊号で利用者様の活動の様子など情報発信を行っています。	・活動予定をおたよりでお知らせしております。
	35	個人情報に十分注意している	8		・個人情報が記載された書類は、充分に注意をしています。	・鍵付きのキャビネットに保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		・一人ひとりに合わせて対応を行っています。	・わかりやすい声かけに工夫したり伝わる方法を利用者や保護者様に合わせるようにしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4	・敷地内にある建物(文化祭・もちつき・音楽会)より年に数回行われている。	・今年度は、地域の中の事業所として可能な限り開かれた事業運営に努めていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		・利用家族様へ丁寧に説明を行い入口には目に付く所にマニュアルを置いています。	・対応方法は、保護者様へ連絡を行っていますが詳細やマニュアルや保護者様への周知が不足している場合もあり早急に対応していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		・法人全体の訓練と事業所内の訓練を計画的に行っています。	・年間に、数回避難訓練を行っています。また、利用児童も参加を行い、実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		・虐待防止研修または、チェックリストを行い虐待防止に努めています。	・法人内での虐待防止委員会も構成しており、活動も行っています。また、外部の研修、事業所内での研修も行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8		身体拘束に関しては、利用者様の生命や身体への緊急を要する条件として職員の共通認識に基づき支援していますが、現在は行っていません。	・現在、対象児童はいません。身体拘束を行った場合には、記録に残すこと、また契約書に記載し、保護者様には契約時に説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		・アレルギーに関しては、保護者様よりアセスメントへの記入をお願いしています。	・医師の指示書などの対応は行っていません。アレルギーがある児童に関しては、活動に取り入れられないようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		・その都度、記載し職員で周知しています。	・危険な事例があった場合は、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 10日

事業所名 児童発達支援事業所 さくら

保護者等数(児童数)59

回収数 37

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	42	1	0	【事業所より】 ・限られたスペースでの活動ですので、少しでも広く活動できるよう、環境整備を心掛けていきます。 ・環境整備やスタッフ研修、安心してご利用いただけるよう努めます。 ・その時その時で、必要に応じての環境作りに努めていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	42	1	0	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	36	6	0	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	43	0	0	【ご意見】 ・交流は、今はコロナで難しいと思っています。 【事業所より】 ・この状況が落ち着けば、交流に関して取り組んでいきたいと思っています。 ・機会や場面を見つけ、事業所内外に関わらず、様々な情報収集を行い、子ども達が楽しめる活動を提供していけるよう努めます。 ・長期休みを中心に、近隣の児童クラブとの交流を行ってきていましたので、今後も一緒に活動する機会を設けていきます。 ・様々な方々・場所での交流に関しては、おたよりなどでしっかりお伝えしていきたいと思っています。 ・今ある資源を活用し(さくらだからこそ出来る事)、様々な機会を作っていきたいと思っています。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	40	1	0	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	23	3	
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41	2	0	【ご意見】 ・ノート以外でも、お迎え時、様子を教えていただいているのでありがたいです。 ・育児の相談に、いつもノートで丁寧に答えていただいているので助かっています。 ・何かあればお互い伝え合っています。 【事業所より】 ・これからも、面談をはじめ、様々な場面での説明を丁寧に行っていくことも掛けていきます。 ・連携をしっかりとりながら、学校やご家庭での様子等、いろいろ教えていただきたいと思います。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	41	1	0	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	42	2	0	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	24	4	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	32	8	0	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	41	2	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	39	4	0	
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	39	4	0	【事業所より】 ・コロナが落ち着きましたら、是非、交流会や勉強会といった企画を行いたいと思います。 ・状況的に集まる機会を設けられない分、可能な方法での情報発信を心掛けていきたいと思っています。 ・おたよりを通して、毎月の活動の様子・情報などをお伝えできたらと思っています。連絡事項も記入していますので、必ず目を通していただきたいと思います。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	34	6	0	
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	13	1	【ご意見】 ・「楽しかった」「〇〇した」と話してくれます。 ・嫌がる子となく通っているので楽しんでくれていると思います。 ・いつも優しくアドバイスいただけて私にとっても大事な場所です。 ・支援・対応どちらも大変満足しています。 【事業所より】 ・さくらだから出来る事・さくらにしか出来ない事を、スタッフ一同一丸となって考え、満足いただけるよう努力してまいります。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	27	7	0	
	18	事業所の支援に満足しているか	34	0	0	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 10日

事業所名 ゆいまーる

保護者等数(児童数) 10 回収数 6 割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6				
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3			例年はハロウィン交流会やお遊戯会の時期には同法人の保育園児との交流があるがコロナ禍で実施できていません。今後は実施する予定です。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3			コロナ禍で保護者会の実施ができていません。今後は開催予定としています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
	14	個人情報に十分注意しているか	6				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	1			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2			年に2回避難訓練を実施しています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6				
	18	事業所の支援に満足しているか	6				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 10日

事業所名 児童発達支援事業所 2ndさくら 保護者等数(児童数)71 回収数 64

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	57	4		3	【ご意見】 ・滑り台は修理をしたほうがよいと思う ・コロナの為しようがないと思います(わからないに回答の方より) 【事業所より】 ・ご意見ありがとうございます。滑り台は修理が完了いたしました ・事業所の中を知って頂けるよう、次年度より保護者参観の日を設けるなどの方法で周知を図っていきたいと考えています。 ・利用児童の特性や発達状況に合わせて配置を行っています。 保育士・児童指導員・計11名、うち児童発達支援管理者4名で療育にあたっています ・それぞれの部屋の広さや活動に応じてエリア分けをより心掛けていきます
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	58	1		5	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	51	2		11	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	63			1	【ご意見】 ・コロナの為しようがないと思います(わからないに回答の偏り)
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	62	1		1	【事業所より】 登録している子ども全員が八代市内の小中高校支援学校に在籍しており、日頃から交流を持つことができています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19	14	4	27	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	62	2			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	62	1			【事業所より】 ・保護者の方がお迎えにみえる際、口頭でその日の様子を伝えるようにしています。その日の様子をLINEでお伝えしているご家庭もあります。また、保護者の方と直接お顔を合わせる機会が少ないご家庭にはLINEやプリントにて活動の様子をおたえしています
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	61	3			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	56	2	1	5	【事業所より】 ・今年度はヘアプロや、茶話会を開催することができました。 ・来年度はお仕事をされているご家庭も参加して頂けるよう、開催日時を早期周知を図るなど工夫していきたくと思います。 ・茶話会を開催する時間帯や曜日の工夫をしています。 ・茶話会の日時を玄関に掲示していきます。 ・現在設置しているご意見箱の周知をおたよりで図り、様々な保護者の方からご意見を頂きやすい環境を作っていきたいと思っています
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	47	4	2	6	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	62	1		1	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	54	6		4	
	14	個人情報に十分注意しているか	60	1		3	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	54	3		7	【事業所より】 今年度は、消防訓練・洪水避難訓練・引き渡し訓練を行っています。おたよりやLINEを通し、避難訓練の事前通知や事後報告を行いながら、周知の徹底に努めていきます
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	53	1		5	
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	55	6	2	1	・楽しみにしているときもあれば、面倒だというときもあり ・水曜が夕方から習字があるため、本人は別日を希望している
	18	事業所の支援に満足しているか	63	1			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 10日

事業 児童発達支援事業所ほか

保護者等数(児童数) 70 回収数 36 割合 51 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	47	3			・利用児童が安心して楽しく活動できるように工夫していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	47	3			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	43	4			
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	50				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	48	2			・固定されないように、様々な活動ができるように、今後も工夫をしていきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	31	17	2		・コロナ禍ということもあり、実施できていませんでした。今後も、検討していきたいと思います。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	50				・今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	50				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	50				・ご家庭での支援に関し、一緒に話し合いを設けていきたいと思っています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27	17	6		・今年度は、感染症予防の為に開催できていませんでした。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40	10			・苦情に対しては、迅速かつ適切に対応するように心がけていきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	47	3			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	46	4			・月に1度のおたより、また長期休暇などのお便りも定期的に発行しております。
	14	個人情報に十分注意しているか	48	2			・個人情報の取り扱いについては、十分注意しております。また、内容等については、保護者様の方に確認し了解を得たうえで関係機関と連携させていただいています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	40	10			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	11			・定期的に避難訓練を実施しています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	42	8			・利用児童が、将来に向けて必要な活動(集団・個人)を取り入れていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	46	4			・利用児童が、安心して活動に参加できるように努めていきたいと思っています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。